



2021年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年1月29日

上場会社名 アイエクス・ナレッジ株式会社
 コード番号 9753 URL <https://www.ikic.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 安藤 文男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 中谷 彰宏

TEL 03-6400-7000

四半期報告書提出予定日 2021年2月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,747	1.5	676	20.6	720	20.6	485	26.7
2020年3月期第3四半期	12,935	1.7	560	23.9	597	22.8	383	27.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	48.75	
2020年3月期第3四半期	38.48	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	10,046	5,379	53.5
2020年3月期	9,757	4,945	50.7

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 5,379百万円 2020年3月期 4,945百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		15.00	15.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)				15.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,017	3.1	800	2.0	842	1.8	561	3.6	56.34

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

新型コロナウイルスの感染拡大や収束の状況等により、業績予想の修正が必要な場合には、速やかに開示いたします。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	11,200,000 株	2020年3月期	11,200,000 株
期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,239,591 株	2020年3月期	1,239,189 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	9,960,653 株	2020年3月期3Q	9,961,140 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、上記予想に関する事項は添付資料の2ページを参照してください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、個人消費や企業活動が停滞し、依然としてその収束は見通せず、先行き不透明な状況が続いております。

国内の情報サービス市場におきましては、こうした状況の中、テレワーク環境の整備・強化が進むとともに、引き続き、DXによる新たなビジネススタイルへの変革に向けたIT需要が増加する一方で、現状の経済活動における停滞感が今後さらに長期化する場合には、企業の先端技術等に対するIT投資に影響がでてくる懸念されます。

このような環境の下、当社は、「中核事業の拡大」「次期成長事業の創出」「事業基盤の強化」を中期経営方針として3ヶ年の中期経営計画を策定し、営業改革、開発体制整備、案件対応力強化、DXやブロックチェーン技術等のデジタル化への対応を進めてまいりました。特に、DXシフトに取り組むお客様のニーズに対応した技術・サービスの開発や大手SI企業とのデジタル先端技術を活用したプラットフォームサービス事業への取り組み等、新たな成長事業創出に注力してきております。さらに、教育・採用の強化、社内情報化投資や事業投資にも積極的に取り組んできております。また、新型コロナウイルス感染症拡大への対策として従業員の在宅勤務や時差出勤等に対応する環境を整え、事業活動を推進しております。

当第3四半期累計期間での動向を品目別に見ますと、コンサルティング及びシステム・インテグレーション・サービスでは、車載組込みシステム開発が堅調に推移し、また、地方銀行や総合物流企業、化学メーカー、化粧品メーカーにおけるシステム開発案件などの受注が拡大しました。しかしながら、前年度の大手通信事業者向けのシステム検証大型案件の収束をカバーするには至らず、前年同期と比べて売上高は減少しました。また、システムマネージメントサービスにおいては、運用設計や基盤構築案件など既存業務を堅守し、売上高は増加しました。

この結果、当第3四半期累計期間の売上高は、12,747百万円（前年同期比1.5%減）となりました。一方、利益面は、事業の選択と集中や業務改善を進めるなど事業基盤の強化に取り組むとともに販管費の抑制に努めた結果、営業利益676百万円（同20.6%増）、経常利益720百万円（同20.6%増）、四半期純利益485百万円（同26.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は10,046百万円となり、前事業年度末に比べ288百万円増加しました。これは主に「投資有価証券」の増加186百万円、「仕掛品」の増加104百万円、「ソフトウェア仮勘定」の増加102百万円、「受取手形及び売掛金」の減少89百万円によるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は4,666百万円となり、前事業年度末に比べ145百万円減少しました。これは主に「賞与引当金」の減少471百万円、「その他」に含まれる「預り金」の増加180百万円、同じく「その他」に含まれる「未払費用」の増加129百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は5,379百万円となり、前事業年度末に比べ434百万円増加しました。これは主に「利益剰余金」の増加336百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前事業年度末の50.7%から53.5%となっております。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の業績予想につきましては、当第3四半期累計期間の業績および現状の事業状況、事業環境を勘案しました結果、概ね2020年5月15日に公表しました業績予想の範囲内で推移しており、現時点において同予想値に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,002,805	4,058,988
受取手形及び売掛金	2,701,230	2,611,404
商品及び製品	485	-
仕掛品	126,825	231,520
その他	204,652	187,325
貸倒引当金	△19,179	△14,079
流動資産合計	7,016,819	7,075,159
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	109,218	101,776
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	26,457	16,510
土地	116,992	116,992
建設仮勘定	-	235
有形固定資産合計	252,669	235,513
無形固定資産		
ソフトウェア	29,880	31,162
ソフトウェア仮勘定	-	102,545
その他	8,689	8,689
無形固定資産合計	38,570	142,398
投資その他の資産		
投資有価証券	1,173,786	1,360,382
繰延税金資産	981,811	938,482
その他	294,215	294,215
投資その他の資産合計	2,449,813	2,593,080
固定資産合計	2,741,053	2,970,992
資産合計	9,757,872	10,046,151

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	565,281	573,292
1年内返済予定の長期借入金	40,000	40,000
未払金	280,461	371,323
未払法人税等	159,538	122,861
賞与引当金	949,625	477,728
役員賞与引当金	17,285	-
その他	296,253	574,421
流動負債合計	2,308,444	2,159,627
固定負債		
長期借入金	70,000	40,000
退職給付引当金	2,334,586	2,367,618
資産除去債務	63,292	63,341
長期末払金	36,200	36,200
固定負債合計	2,504,078	2,507,159
負債合計	4,812,523	4,666,787
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,180,897	1,180,897
資本剰余金	1,291,045	1,291,045
利益剰余金	2,794,257	3,130,414
自己株式	△480,060	△480,378
株主資本合計	4,786,139	5,121,978
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	159,209	257,386
評価・換算差額等合計	159,209	257,386
純資産合計	4,945,349	5,379,364
負債純資産合計	9,757,872	10,046,151

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	12,935,897	12,747,988
売上原価	10,525,103	10,330,873
売上総利益	2,410,794	2,417,115
販売費及び一般管理費	1,850,207	1,741,091
営業利益	560,586	676,023
営業外収益		
受取利息	2,887	2,592
受取配当金	28,595	35,605
投資事業組合運用益	1,028	-
その他	5,721	9,507
営業外収益合計	38,232	47,705
営業外費用		
支払利息	527	379
投資事業組合運用損	-	259
為替差損	655	2,468
雑損失	129	49
営業外費用合計	1,312	3,157
経常利益	597,507	720,571
特別利益		
固定資産売却益	2	-
投資有価証券売却益	-	2,637
会員権売却益	50	-
特別利益合計	52	2,637
特別損失		
固定資産廃棄損	127	0
投資有価証券評価損	30,335	4,351
特別損失合計	30,463	4,351
税引前四半期純利益	567,096	718,857
法人税等	183,755	233,287
四半期純利益	383,341	485,569

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。